

「ノーモア原発公害市民連絡会」を立ちあげます

発起人一同 事務局担当：寺西俊一（一橋大学名誉教授）

新しい市民運動が11月にスタートします。原発事故による様々な被害を「原発公害」と位置づけ、現状に危機感をもつ多様な市民の思いをつなぐ「ノーモア原発公害市民連絡会」という緩やかなネットワークです。

日本政府の原発をめぐる政策が暴走する今、わたしたちは、当面、とくに次の3点を求めています。

- ① 原発事故を引き起こした国の責任を認めない最高裁不当判決をただす。
- ② いまだに被害者への人権侵害と環境破壊は深刻であり、それらの全面救済と原状回復を求める。
- ③ 新たな「原発公害」を広げるALPS処理汚染水の海洋放出の中止や、原発再稼働の停止を求める。

<「ノーモア原発公害市民連絡会」発足式・記者会見・記念シンポジウムの案内>

日時： 2023年11月17日（金） 場所：衆議院第一議員会館 国際会議室

式次第：11時～ 発足式および記者会見

13時半～ 記念シンポジウム

特別講演……「原発事故と国の責任－6・17最高裁判決をどうただすか」

樋口英明氏（関西電力の敗訴判決を書いた元福井地裁裁判長）

訴え …… 「原発公害」の現実－被害者からの訴え！

- ① 原発事故避難者から（森松明希子さん）
- ② いわき市民訴訟から（伊東達也さん）
- ③ ふるさとを返せ！津島訴訟から（三瓶春江さん）

対論 …… 「原発ゼロ」か「原発回帰」か－ドイツと日本の対比から

ミランダ・シュラーズ氏（ドイツ脱原発倫理委員会委員）

長谷川公一氏（東北大学名誉教授）、ほか

当日会場の定員数が約100名程度となっているため、会場参加は「事前申込」となっています。

定員を超えた場合は、ウェビナーでのオンライン参加をお願いすることになる可能性があります。

いずれにせよ、参加をご希望の皆さまには、以下の【参加申込フォーム】から、必要事項をご記入のうえ、できるだけ早目に、申込みのご送信をお願いいたします。

【参加申込フォーム】 <https://forms.gle/KcDXw8chxMvLXmAj9>